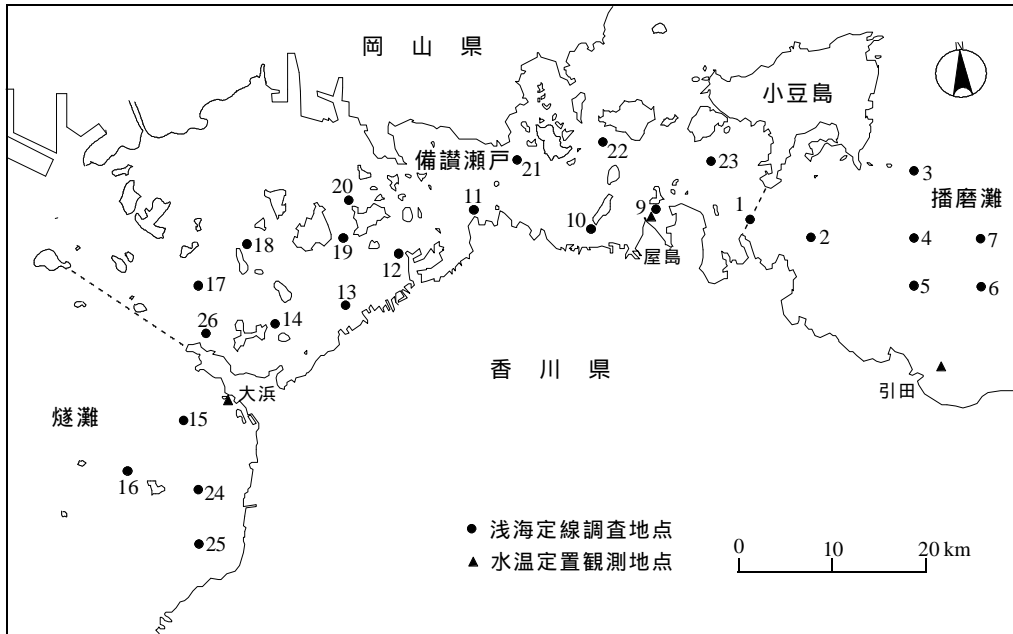


# 香川県漁海況速報 平成20年 5月 (H20-2号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成20年5月2日 (播磨灘) 1日 (備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからかなり高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「やや高めから著しく高め」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.0	14.3	12.1	32.3	32.5	32.8	12.2	5.90	5.44
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	0.9	1.1	0.0	0.1	0.2	0.4	3.8	-0.16	0.01
	状況	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	15.1	14.7	14.5	33.0	33.1	33.1	6.9	6.05	6.00
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	1.0	0.9	0.8	0.5	0.6	0.6	1.2	0.41	0.41
	状況	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	16.0	14.3	13.2	33.2	33.2	33.5	16.1	5.73	5.86
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	0.4	0.8	0.6	0.4	0.3	0.4	5.8	0.00	0.69
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく高め	平年並み	かなり高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 ( : 標準偏差 )  
 やや高め ( やや低め ) 0.6 平年偏差 < 1.3  
 かなり高め ( かなり低め ) 1.3 平年偏差 < 2.0  
 著しく高め ( 著しく低め ) 2.0 平年偏差

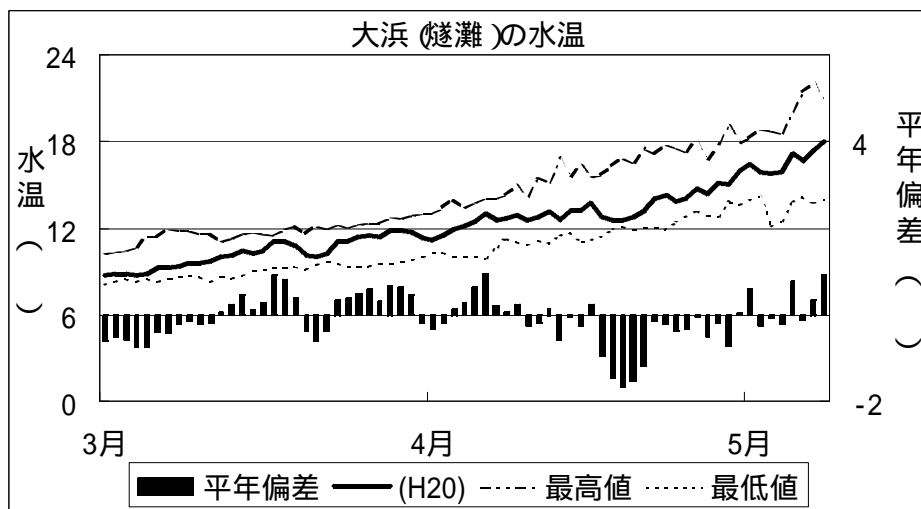
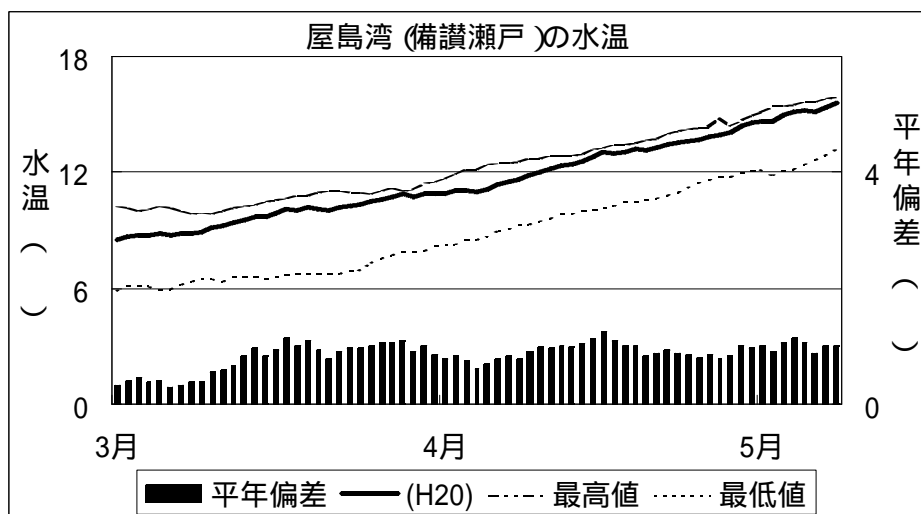
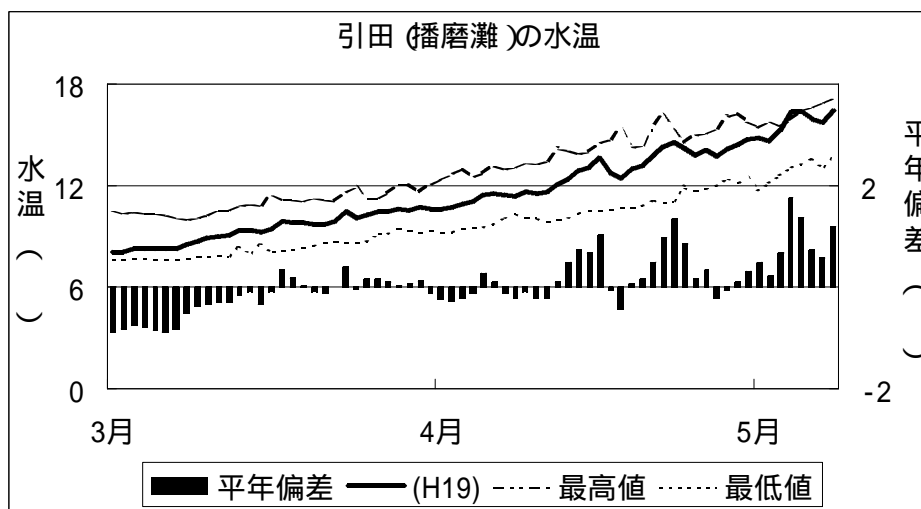
### 3) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 4月上・中旬は平年並みからやや高め、下旬以降は平年並みからかなり高めで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 4月以降やや高めからかなり高めで推移している。

燧灘(大浜): 4月前半は平年並みからやや高め、後半以降はやや低めから平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)～平成19(2007)年  
屋島: 昭和50(1975)～平成19(2007)年



#### 4) 赤潮 (4月15日～5月8日)

播磨灘：4月9日より南西部でノクチルカ赤潮が継続して発生している。

備讃瀬戸：4月14日から16日にかけて丸亀市手島北部、坂出市与島南部でノクチルカ赤潮が確認された。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成20年5月2日 (播磨灘)、1日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

カタクチイワシ卵の出現量は平均4.8個/曳網 (対平年値16.2%) であった。

## 2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、テナガダコ、ガザミ、イカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網では主にマダイ、スズキ、サバ、イカ類が漁獲されている。</p> <p>建網では主にカサゴ、メバルが漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、5月中旬までのサワラの漁獲量は、ほぼ前年並みであるが、サゴシは前年を大きく上回っている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、マダイ、ウマヅラハギ、イイダコが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の4月の漁模様は、4月上旬までイカナゴ、中旬からトラフグに移行しており、トラフグは好調な漁獲が続いている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月25日から操業が開始され、5月中旬までのサワラの漁獲量は前年を大きく上回っている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、キス、シャコ、小エビ類、イカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>柵網ではマダイ、クロダイ、ウマヅラハギ、スズキ、ヒラメ、イカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>さより機船船びき網の漁獲量は200kg / 日・隻前後で、大きさは中主体になっている。</p> <p>サワラ流し刺し網は4月20日から操業が開始され、5月中旬までのサワラの漁獲量は前年を大きく上回っているが、サゴシは大きく下回っている。</p>